

	<p>2 報告事項</p> <p>(1) 令和4年度公共交通市民アンケート速報値について</p> <p>(2) 公共交通応援隊活動報告について</p> <p>(3) ジブリパークへの新たな交通手段について</p> <p>(4) 市内公共交通の利用者数について</p> <p style="padding-left: 20px;">・リニモ・名鉄バス・Nーバス・山の湊号</p> <p>3 意見交換</p> <p>4 その他</p>
--	---

1 議題

(1) 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

ア 地域間幹線系統（長久手市）（報告事項）

（資料1-1に基づき事務局より説明）

イ フィーダー系統及び地域公共交通計画

（資料1-2に基づき事務局より説明）

委 員

第2次長久手市地域公共交通網形成計画の策定時には、Nーバスの65歳以上有料化を想定していたのか。想定していなかった場合、有料化後の利用者数の減少幅は少ない印象を受ける。

事務局

Nーバスの65歳以上有料化について、第2次長久手市地域公共交通網形成計画の策定時には想定していなかった。

会 長

ご指摘のとおり、Nーバスの65歳以上有料化後ということをご考慮すると利用者実績は悪くないと考える。令和3年4月に実施したNーバス路線再編前後や、65歳以上の運賃有料化で、利用者の動きに変化がある部分については引き続き考察を続ける必要がある。

今後の公共交通施策の1つとして検討していくデマンド型交通の導入について、公共交通アンケートでデマンド型交通へのご意見を調査したところ、利用者が少ない地域にデマンド型交通を導入することを望む回答が約半数を占めた。

今回のアンケートではデマンド型交通の概要やメリット等をアンケート調査表に詳細に記載したため、デマンド型交通への理解を得やすかったのではないかと考える。

新たな交通サービスも含めて、今後の交通体系の見直しをどう図っていくのか引き続き協議の場を設ける。

会 長

資料 1 - 2 の本省様式「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定に係る事業）」について、日付が令和 4 年と記載されているため令和 5 年にすること。

事務局

指摘いただいたとおり修正する。

会 長

本議題について、資料 1 - 2 のとおり承認することとしてよろしいか。

事務局

（異議なし）

(2) 令和 4 年度生活交通確保維持改善計画の変更について

（資料 2 に基づき事務局より説明）

会 長

平成 20 年 5 月に N - バス車両を購入しているが、新しい車両を購入する必要があるか。車両のトラブル等がある場合、どのように対応しているのか。

安心安全課

平成 20 年度に購入した車両の買い換えとして、令和 4 年度生活交通確保維持改善計画に記載した平成 20 年に購入した車両は、現在も N - バス全車両の 5 台の中の 1 台として運行している。

過去に車両の問題で運行を見合わせた事例もあったが、随時名鉄バス（株）に整備いただきながら現在まで運行を続けており、今後も引き続き買い換えまで対応していく。

会 長

本議題について、承認することとしてよろしいか。

委 員

（異議なし）

(3) 令和4年度公共交通市民アンケート速報値について

(資料3に基づき事務局より説明)

委員

アンケートの設問で、Nーバスを利用している理由として他に利用できる交通手段がないという回答を挙げている方もいる。すべての方に満足いただける公共交通サービスを行うのは難しいが、Nーバス以外に移動手段がない方の意見を聞き、より詳細に把握できると良い。

事務局

公共交通アンケートの他に、地域の事業所を対象として、市内公共交通に関する考えをヒアリングする機会を設ける予定があり、今後も引き続き市民や利用者のニーズを把握していく。

会長

今年度7月に実施したNーバス乗降調査の分析を進めるなかで、Nーバス路線再編前と比較して、南小学校及び市が洞小学校地区の利用は増加しているが、藤が丘方面の移動需要が減少している。小学校区等、地域ごとの利用実態について、アンケートを活用しながら詳細に分析しつつ、今後の方向性や利用促進策の検討を行っていただきたい。

(4) 公共交通応援隊活動報告について

(資料4に基づき事務局より説明)

会長

毎年、子ども向けのイベントを実施しており、とても良い取組であると思う。今年度は、小学校区ごとにイベントを実施し、市内でより広域的な利用促進活動ができたのではないかと。

委員

1つの会場にお越しいただくイベントは、元から公共交通に興味のある子どもの参加が多かったが、子ども達のいる場所まで赴くことで、公共交通をあまり身近に感じていなかった子どもにも利用促進できた点が効果的であったと考える。

また、公共交通アンケートの質問項目である、「市民主体で行う公共交通利用促進の取組

に「関わっていききたいと思うか」という問に対し、積極的に関わっていききたいとの回答が42名いるため、イベントへの参加だけでなくイベントを企画する主催側としても、市民の方が積極的に取り組めると良い。

会 長

アンケートで市民活動に積極的に参加したいとお答えいただいた方が多い地域に伺い、市民の方に参加いただける事業について案内する等、市の公共交通事業に関わっていただける地域の方を増やしていけると良い。

また、今回地区ごとでイベントを実施したことについて、公共交通事業に参加いただく方を募りつつ、各地区が独立して公共交通に関する取組を行う体制を構築していきたい。

(5) ジブリパークへの新たな交通手段について

(資料5に基づき事務局より説明)

会 長

令和4年11月からシャトルバスの実証運行を開始しているが、運行開始後の現状はどのようなか。

委 員

現在尾張瀬戸駅から、ジブリパークまで直通で運行しているが、直通での運行が適切なのかというご意見が瀬戸市の公共交通会議で挙げられた。また、運行を開始したばかりであり、周知が十分行き届いていないため、目標値には達していない。しかし、ジブリパークに直行で行くことが出来るバスは、周辺都市にないため、今後も同行を注視する必要がある。

委 員

シャトルバスについて、ジブリパークオープンに係る大きな遅延は発生していない旨報告を受けている。長久手市ではジブリパーク開園による渋滞は起きているか。また、渋滞対策として実施したことはあるか。

事務局

当初ジブリパークオープンによる渋滞が懸念されていたが、元々の道路改良や公共交通

利用促進を幅広いメディアで実施したことにより、想定していた程の渋滞は発生しなかった。ジブリパークオープン直後に愛知県が、愛知学院大学や名古屋商科大学に臨時駐車場を設けたが、満車になることはなかった。

今後利用者が増加するタイミングとしてゴールデンウィークが挙げられる。うまいもの祭り等、愛・地球博記念公園での大規模なイベントもあり、渋滞が起これると予想されるため、臨時駐車場を設置するという話は聞いている。今後2期のオープンに向け、入場者数制限等どのような運営となるのか注視しながら、必要な対策を行う。

会 長

今後新たなエリアがオープンするということで、愛知県と長久手市が連携して引き続き渋滞対策を行って欲しい。

(6) 市内公共交通の利用者実績について

ア リニモ（資料6-1）

イ 名鉄バス（資料6-2）

ウ Nーバス（資料6-3）

エ 山の湊号（資料6-4）

（資料6-1、6-2、6-3、6-4に基づき、愛知高速交通㈱、名鉄バス㈱、安心安全課、事務局より説明）

会 長

リニモについて、臨時便を取りやめるということだが、通勤時間等混雑しやすい時間でも取りやめて問題ないか。

委 員

ジブリパーク来園を目的とする乗客は、比較的リニモ車両が空いている昼の時間帯に利用されるため、混乱は起きないと考える。

会 長

名鉄バスについて、利用者数がコロナ前の85%から90%まで回復しているとのことであるが、路線が撤退する程の収支状況ではないか。

委 員

元々の事業規模を考えると、利用者数が1割少ないという現状はバス運行事業に大きな影響があるが、減便や車両のサイズダウン、長大路線の再編などによる事業規模の縮小の検討を行い、現状の路線やダイヤの維持のため、対応していく。

会 長

本会議ではNーバスだけでなく、リニモや名鉄バス等ほかの公共交通事業についても幅広く検討できると良い。

名鉄バスの報告資料について、ジブリパークへのシャトルバス等の利用者数等も報告いただけないか。

委 員

従来より、資料6ー2の様式で報告を行ってきたが、シャトルバスの利用者数も開示できるため、対応させていただく。

会 長

Nーバスについて、令和4年4月に65歳以上の運賃有料化を実施し、利用状況が変化していると考ええるため、引き続き利用促進活動と併せて利用者の動向を注視しながら、しかるべき対応策を検討していただきたい。

山の湊号や浜松までのバス実証運行事業について、市民の方への利用促進策はあるか。

事務局

現在企画政策課の窓口には山の湊号利用案内を設置しているほか、本市観光交流協会では山の湊号回数券や企画券を販売している。浜松までのバス実証運行事業の周知も山の湊号と併せて実施することは可能である。

委 員

浜松までのバス実証運行について、広報やホームページ等でも情報提供していきたい。

会 長

実証運行のバスで浜松まで向かう際に、新城市を経由することから、新城市内で買い物等観光する時間を設けたダイヤ設定が望ましい。

中部運輸支局観光部観光企画課

運行ダイヤについて配付資料に記載されているが、確定していないため、今回のご意見も含め可能な範囲で検討していく。

事務局

長時間にわたり、ありがとうございました。連絡事項として、今年度の本会議は、今回をもって終了する。次回公共交通会議は令和4年5月下旬から6月上旬を予定している。また、改めて日程調整等ご連絡する。

以上